

<地震・津波による損害のある住宅内に存在する家財の賠償>

損害の程度	建物の損害状況 【建物構造別の地震被害状況例】	賠償金額のお支払い割合
倒壊	<ul style="list-style-type: none"> 地震により建物が倒壊した場合 津波により建物が流失した場合 なお、衛星写真などによって倒壊・流失していることが確認できた建物は、倒壊相当の損害と推定させていただきます。	帰還困難区域における世帯人数・家族構成で算定した賠償金額の20%
全損	<ul style="list-style-type: none"> 地震で構造的に大きく損壊し、住み続けることが困難な状態 津波で建物の高さの半分以上が浸水した場合 【木造】 柱や基礎の半分以上が損壊。もしくは、体感できるほどの建物の傾斜 【鉄骨造】 体感できるほどの建物の傾斜。もしくは、外壁の半分以上の落下 【鉄筋コンクリート造】 体感できるほどの建物の傾斜。もしくは、被害の大きな階で、半分以上の柱や梁などに鉄筋が見えるほどの損壊	100%
半損	<ul style="list-style-type: none"> 地震で構造的に損壊しており、住み続けるためには、大がかりな補修工事が必要な状態 津波で床上1m以上浸水した場合 【木造】 一部の部屋が利用できないほどの、柱の損壊や壁の傾斜 【鉄骨造】 外壁材の欠けや目地の開きが、外壁の半分以上で発生 【鉄筋コンクリート造】 被害の大きな階で、4割を超える柱や梁などで鉄筋が見えるほどの割れ	100%
一部損	<ul style="list-style-type: none"> 地震で構造的な損壊は少なく、比較的簡単な補修工事で原状回復が可能な状態 津波で床上浸水した場合 【木造】 柱、基礎、屋根、外壁などに補修を必要とする損壊 【鉄骨造】 開口部の一部で開閉困難。外壁に目に見えるひび割れや目地にズレ 【鉄筋コンクリート造】 被害の大きな階で、2割を超える柱や梁などで遠目に確認できる程度の割れ	100%